



コンビニエンスストア対象の詐欺電話に注意!!

5月に入り、全国的にコンビニ店舗が被害となる電子マネーカードの詐欺事案が複数発生しています。

手口は、店舗の固定電話に電話をかけ、「カードサポート〇〇会社の者です」と名乗り、「電子マネーカードが新しくなる。カードを有効化する」、「1,500円から5万円分の電子マネーカードをレジに持ってきてください」などと指示し、レジで売上を入力させた後、利用に必要なコード番号を伝えさせられるというものです。

下記資料は、「ファミリーマート従業員用注意喚起資料」として作成されたもので、今回事案の注意喚起にあたって、ファミリーマート本社の使用許諾をいただいているものです。他店舗の皆様も、注意喚起の参考としてください。

※ オペレーションマニュアル等の記載がありますが、ファミリーマート以外のコンビニエンスストアの皆様は、自店舗のマニュアル等に従ってください。



ファミリーマート作成資

ストアスタッフへ

詐欺電話に注意!

店舗に電話がかかってきて
POSAカードをレジで
スキャン登録するように
指示されたら詐欺です!

※POSAカードについて、本部や取引先などが店舗へ直接電話をすることはありません。

対応

- ①指示に従わず、電話を切る。
- ②店長・マネージャー、または
営業所・緊急あんしんダイヤル(夜間)に連絡する。

もし、スキャン登録したカード番号を相手に伝えてしまったときは

- ・レジにて取消操作を行う オペレーションマニュアル 5 16 8)
- 取消が完了しない場合 カード裏面に記載されたお問合わせ先へ速やかに連絡

詐欺グループの手口

- 手口① 詐欺グループは、電話で「本部」、「システム会社」、「POSAカード会社」など実在の企業をかたり「POSAカードのテスト」、「レジのシステムチェック」、「レジが使用できなくなる」などの口実でストアスタッフにPOSAカードをレジスキャン登録させ、そのカード番号を伝えるよう指示する。(夜勤の時間帯に集中)
- 手口② 詐欺グループは、下調べをした「店長」や「マネージャー」の個人名を出し「女性オペレーターの声」で、ストアスタッフを安心させる。
- 手口③ 詐欺グループは、POSAカードをレジスキャン登録した際に発生するレジ不足金は「後日、本部が修正処理する」と伝えストアスタッフを安心させる。

犯人の手口です

犯人は、人手が手薄な夜間の時間帯を狙って架電してきています。今後、県内でも発生する可能性が高いことから、注意してください!!



作成元

富山県警察本部生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係
電話:076(441)2211(代表)